

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士専攻科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	生体機能代行装置学実習 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年次		学期及び曜時限	後期	教室名	臨床工学実習室
担 当 教 員	曾根 慶一	実務経験と その関連資格	花田クリニックにて臨床工学技士として従事			
《授業科目における学習内容》						
血液浄化装置に関する操作及び保守管理、点検方法を中心に実習する						
《成績評価の方法と基準》						
出席点20%、実技試験30%、レポート評価50%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
プリント						
《授業外における学習方法》						
プライミングにおける実技試験を行うので、放課後などを利用し練習しましょう。						
《履修に当たっての留意点》						
出席することが一番大事なので成績の評価に出席点を入れています。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	血液浄化装置概要について理解し、説明できるようになる	プリント	本日の内容のレポート 作成	
		各コマに おける 授業予定	・血液浄化装置概要及び取り扱い注意事項 ・実験概要			
第2回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	血液浄化装置の機構、組み立てについて理解する。	プリント 透析用監視装置	本日の内容のレポート 作成	
		各コマに おける 授業予定	・血液浄化装置の機構観察 ・血液浄化装置の組み立て			
第3回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	血液浄化装置の基本操作について理解する	透析用監視装置 血液回路	本日の内容のレポート 作成	
		各コマに おける 授業予定	血液浄化装置の基本操作技術の説明			
第4回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	血液浄化装置の基本操作について理解し、各部の説明ができる	透析用監視装置	本日の内容のレポート 作成	
		各コマに おける 授業予定	血液浄化装置の基本操作技術①			
第5回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	血液浄化装置の基本操作について理解し操作できる	透析用監視装置	本日の内容のレポート 作成	
		各コマに おける 授業予定	血液浄化装置の基本操作技術②			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	血液回路の各部名所及び意味を理解し、説明できるようになる	血液回路	本日の内容のレポート作成
		各コマに おける 授業予定	血液回路の構成及びその意味について		
第7回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	血液回路の組み立てができる	透析用監視装置 血液回路	放課後血液回路組み立て練習
		各コマに おける 授業予定	血液回路の組み立て①		
第8回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	血液回路の組み立てができ、清潔操作もできる	透析用監視装置 血液回路	放課後血液回路組み立て練習
		各コマに おける 授業予定	血液回路の組み立て②		
第9回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	血液回路のプライミング方法が理解できる	透析用監視装置 血液回路	放課後などを利用し、プライミングの練習
		各コマに おける 授業予定	血液回路のプライミング①		
第10回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	血液回路A側の水を充填ができる	透析用監視装置 血液回路	放課後などを利用し、プライミングの練習
		各コマに おける 授業予定	血液回路のプライミング②		
第11回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	血液回路V側まで水を充填できる	透析用監視装置 血液回路	放課後などを利用し、プライミングの練習
		各コマに おける 授業予定	血液回路のプライミング③		
第12回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	血液回路の水を充填し気泡が抜く事ができる	透析用監視装置 血液回路	放課後などを利用し、プライミングの練習
		各コマに おける 授業予定	血液回路のプライミング④		
第13回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	血液回路の水を充填しねじれやからまりがなくできる	透析用監視装置 血液回路	放課後などを利用し、プライミングの練習
		各コマに おける 授業予定	血液回路のプライミング⑤		
第14回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	血液回路の水を充填しキャップやクランプができる	透析用監視装置 血液回路	放課後などを利用し、プライミングの練習
		各コマに おける 授業予定	血液回路のプライミング⑥		
第15回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	血液回路の水を充填し清潔操作ができる	透析用監視装置 血液回路	放課後などを利用し、プライミングの練習
		各コマに おける 授業予定	血液回路のプライミング⑦		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	血液回路のプライミングができる	透析用監視装置 血液回路	放課後などを利用し、プ ライミングの練習
		各コマに おける 授業予定	血液回路のプライミング⑧		
第17回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	循環ポンプの構成と仕組みについて理解し、説明できる	循環ポンプ プリント	本日の内容のレポート 作成
		各コマに おける 授業予定	循環ポンプの構成と仕組みについて		
第18回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	循環ポンプのオーバーホールができる	循環ポンプ	本日の内容のレポート 作成
		各コマに おける 授業予定	循環ポンプオーバーホール		
第19回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	除水ポンプの構成と仕組みについて理解し、説明できる	除水ポンプ プリント	本日の内容のレポート 作成
		各コマに おける 授業予定	除水ポンプの構成と仕組みについて		
第20回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	除水ポンプのオーバーホールができる	除水ポンプ	本日の内容のレポート 作成
		各コマに おける 授業予定	除水ポンプのオーバーホール		
第21回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	カスケードポンプの構成と仕組みについて理解し、説明できる	カスケードポンプ プリント	本日の内容のレポート 作成
		各コマに おける 授業予定	カスケードポンプの構成と仕組みについて		
第22回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	カスケードポンプのオーバーホールができる	カスケードポンプ	本日の内容のレポート 作成
		各コマに おける 授業予定	カスケードポンプのオーバーホール		
第23回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	その他の部品の構成と仕組みについて理解し、説明できる	プリント 電磁弁 ヒータ 漏血センサ など	本日の内容のレポート 作成
		各コマに おける 授業予定	その他の部品の構成と仕組みについて		
第24回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	その他の部品のオーバーホールができる	電磁弁 ヒータ 漏血センサ など	本日の内容のレポート 作成
		各コマに おける 授業予定	その他の部品のオーバーホール		
第25回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	バスキュラアクセスについて理解し、説明できる	プリント	本日の内容のレポート 作成
		各コマに おける 授業予定	バスキュラアクセスについて		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第26回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	穿刺に操作を理解できる	穿刺針 模擬手	本日の内容のレポート 作成
		各コマに おける 授業予定	穿刺		
第27回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	エコーの使い方を理解できる	超音波診断装置 模擬手	本日の内容のレポート 作成
		各コマに おける 授業予定	エコー①		
第28回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	エコーで血管を見ることが出来る	超音波診断装置 模擬手	本日の内容のレポート 作成
		各コマに おける 授業予定	エコー②		
第29回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	水質管理について理解し、説明できる	塩素チェック液 細菌培養セット	本日の内容のレポート 作成
		各コマに おける 授業予定	塩素チェック・細菌培養について①		
第30回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	水質管理を実際に行うことができる	塩素チェック液 細菌培養セット	本日の内容のレポート 作成
		各コマに おける 授業予定	塩素チェック・細菌培養について②		